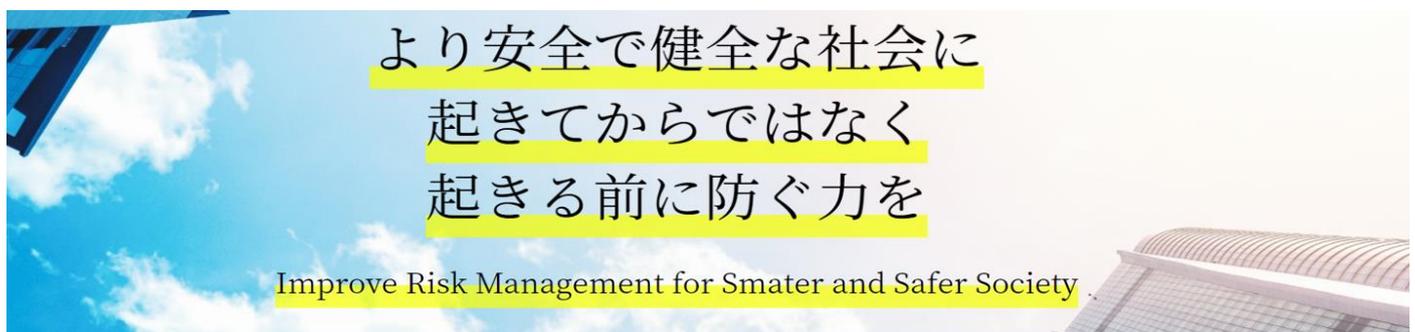


「身に迫るリスクから子ども達を救いたい」
- NPO 法人と民間企業連携型「CSR 自販機」活動支援のお知らせ -

一般社団法人リスク対策支援協会（東京都 千代田区：代表理事中原宏朗）は、NPO 法人若者メンタルサポート協会がおこなう「10代の無料LINE相談」活動の支援及びより多くの子ども達への認知活動を目的とした、民間企業連携型 CSR 自販機設置活動を開始いたしました。



自社で契約・設置している自販機で子供達を 救って頂けませんか?? 「子供達へ手を差し伸べるCSR活動」



飲料1本の売上から
●円を寄付



自販機の収益の中からNPO法人の活動費を
協賛頂き、若者達救済の資金とさせていただきます。

「10代の無料LINE相談」は、NPO法人 若者メンタルサポート協会に所属する約40名のボランティア相談員が、24時間365日LINE (SNS) で無料相談を受け付けている、協会のメイン活動です。

連日相談に訪れる子ども達は1万人以上、相談件数は一ヵ月4万通を超えており、その悩みの多くは家庭環境に関することです。

SNSが発端となるいじめやワイセツ事件が後を絶たない中、新宿区にある「トー横」での事件も連日報道されています。当会としても定期的にトー横の巡回をしており、子ども達の話聞く機会がありますが、家に居場

所がなくト一横に来ているという声が多いのが現状です。

ひとりで苦しみを抱え、家にも学校にも居場所がなく、相談できる人も見つけられないまま悩み苦しんでいる若者の「不安や孤独に寄り添う」活動をしているNPO法人のLINE相談。

そのLINE相談の存在を多くの大人達や悩んでいる若者達にもっと知ってもらうために、民間企業にも協力を仰ぎ、民間企業連携型CSR自販機の設置活動を進めて参ります。

子ども救済自販機プロジェクトについて

自販機を活用した若者達に手を差し伸べるプロジェクト

このプロジェクトは、自治体や地域・企業が主体となり、自販機の全国ネットワークを持つ自販機オペレーター事業者組合（jAOC）と、若者達救済の活動をしているNPO法人（若者メンタルサポート協会）とリスク対策支援をおこなう協会（リスク対策支援協会）にて、多くの人の目に触れる自販機からの収益と飲料メーカー協賛を財源に、子ども達に手を差し伸べる持続可能な共助型社会サービスです。



今回、各地でアミューズメント施設の運営をおこなう「株式会社ヒューマックスエンタテインメント」様協力の元、新宿区にあるボウリング場「コパボウル」にCSR自販機の設置を頂くことになりました。

悩みを抱える若者、居場所の無い若者達の目に触れるケースも多いため、子ども達の声を聴くことに繋がると期待しております。

そこで、**12月16日(木) 19時**から、多くの議員先生方や関係者にお集まり頂き、設置にご協力頂いた企業様のお話を伺った後、ト一横の実態を知る為の巡回をおこなわせて頂きました。

「安全で健全な社会」

「起きてからではなく起きる前に防ぐ」

「子ども達の未来」

このビジョンの実現に向けて、地域の認知・啓もう活動に寄与できることを願っています。

《一般社団法人リスク対策支援協会》

概要

法人名称：一般社団法人 リスク対策支援協会

代表者：中原 宏朗

所在地：〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-5-5 ヒューリック大手町北ビル

TEL：03-6206-8380（代表）

お問合せ：info@risk-ms.org

ホームページ：<http://risk-ms.org>

《NPO 法人若者メンタルサポート協会》

概要

法人名称：特定非営利活動法人 若者メンタルサポート協会

代表者：岡田 沙織

ホームページ：<https://www.wakamono-support.jp/>

《一般社団法人防災・防犯自販機協会》

概要

法人名称：一般社団法人 防災・防犯自販機協会

代表者：五味 隆介

ホームページ：<http://jaoc.jp/>

《株式会社ヒューマックスエンタテイメント》

概要

法人名称：株式会社ヒューマックスエンタテイメント

代表者：林 祥裕

ホームページ：<https://hmx-entame.com/>

SDGsの取り組み

「SDGs (エスディー・ジーズ)」とは、「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、**国際社会共通の目標**

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



目標1. あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ



1-2 2030年までに、各国定義によるあらゆる次元の貧困状態にある、すべての年齢の男性、女性、子どもの割合を半減させる。
1-3 各国において最低限の基準を含む適切な社会保護制度および対策を実施し、2030年までに貧困層および脆弱層に対し十分な保護を達成する。

目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する



3-5 麻薬乱用やアルコールの有害な摂取を含む、薬物乱用の防止・治療を強化する。
3-7 2030年までに、家族計画、情報・教育、およびリプロダクティブ・ヘルスの国家戦略・計画への組み入れを含む、性と生殖に関するヘルスクアをすべての人々が利用できるようにする。

目標4. すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する



4-2 2030年までに、すべての子どもが男女の区別なく、質の高い早期幼児の開発、ケア、および就学前教育にアクセスすることにより、初等教育を受ける準備が整うようにする。
4-3 2030年までに、すべての人々が男女の区別なく、安価で質の高い技術教育、職業教育、および大学を含む高等教育への平等なアクセスを得られるようにする。
4-4 2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、ディーセント・ワーク及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。

目標5. ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る



5-1 あらゆる場所におけるすべての女性および女子に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。
5-2 人身売買や性的、その他の種類の搾取など、すべての女性および女子に対する、公共・私的空間におけるあらゆる形態の暴力を排除する。

国内および国家間の不平等を是正する



10-2 2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、すべての人々のエンパワーメント、および社会的、経済的、および政治的な包含を促進する。

持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する



16-1 あらゆる場所において、すべての形態の暴力および暴力に関連する死亡率を大幅に減少させる。
16-2 子どもに対する虐待、搾取、人身売買およびあらゆる形態の暴力および拷問を撲滅する。

- 1, 貧困をなくそう
- 3, すべての人に健康と福祉を
- 4, 質の高い教育をみんなに
- 5, ジェンダー平等を実現しよう
- 10, 人や国の不平等をなくそう
- 16, 平和と公正をすべての人に